

平成 30 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち						
施策 No.	6	施策名	水産業の振興						
主管課名	農林水産課								
関係課名									
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・資源管理が行われ、安定した漁獲量が保たれています。 ・漁業の後継者が育っています。 ・魚津の魚が評価され、たくさん消費されています。 								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域 等への期待 など	市民 ・ 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は、安全で新鮮な地場産食材を利用します。 ・事業者は、沿岸漁業資源を増やす努力や海を資源とした新しい事業(海業)に取り組みます。 							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業生産基盤の強化と漁業経営の安定化を図ります。 ・水産業の担い手や後継者育成と新規就業者の支援を行います。 ・「安全・安心」「高品質」な水産物の栽培とブランド化や地産地消を図ります。 							
	その他 (地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体(漁協等)と連携して、水産業の振興に努めます。 							
施策を実行する うえで基本と なる事業	基本事業①	水産業生産基盤の整備強化							
	基本事業②	水産経営基盤の整備強化と担い手育成							
	基本事業③	魚のブランド化と地産地消の推進							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	22 (18)	23 (19)	24 (20)	24 (20)	24 (20)	21 (18)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	16 (12)	16 (12)	16 (12)	16 (12)	16 (12)	14 (11)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	2 (2)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	26,877	43,254	150,156	131,352	78,031	75,865
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	6,238	16,218	105,969	100,634	48,244	49,549
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	19,939	26,336	34,087	24,978	28,007	25,336
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	700	700	10,100	5,740	1,780	980
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	66	68	46	40	45	30	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	5,940	6,000	4,000	4,000	4,440	4,000	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	24,912	26,292	16,724	16,444	17,880	16,048	
F. トータルコスト (B+E)		千円	51,789	69,546	166,880	147,796	95,911	91,913	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	610	993	3,480	3,076	1,843	1,801
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)								
	同 上		円	566	604	388	385	422	381
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)								
	同 上		円	1,176	1,597	3,867	3,461	2,265	2,182
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,194	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	44,036	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132

基本事業概要シート①

施策 No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名	①水産生産基盤の整備強化		
基本事業の目的(意図)	資源が管理され、安定した漁獲量を維持しています。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【栽培増殖振興対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚介類などの水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、ヒラメ、クロダイ、アワビの種苗を放流しました。 (H30放流量 ヒラメ:7,500尾、クロダイ:20,000尾、アワビ:14,000個) <p>【内水面漁業振興対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川の水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、アユ、イワナ、ヤマメの種苗を放流しました。 (H30放流量 アユ:90,000尾、イワナ:7,000尾、ヤマメ:6,000尾) <p>【漁港維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経田漁港にて、プレジャーボート引揚台車の車輪取替や、プレジャーボート係留浮桟橋の破損箇所補修を行いました。 <p>【漁港整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「水産物供給基盤機能保全事業」により経田漁港の岸壁保全工事と航路の浚渫を行いました。 (H30実績 岸壁L=79.9m、浚渫3,700m³) 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
市場での水揚量	t	4,227	5,009	4,776	5,300 3,630	5,300 2,898	5,300 3,452	5,300	5,300
船揚施設利用船舶数	隻	112	93	91	130 91	130 78	130 93	130	130

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ 栽培増殖振興対策事業	839,000	837,500	1,500	A	農林水産課
2	一般会計	○ 内水面漁業振興対策事業	900,000	900,000	0	A	農林水産課
3	一般会計	○ 水産多面的機能発揮対策事業	1,141,867	1,141,867	0	A	農林水産課
4	一般会計	○ 漁港維持管理事業	800,000	703,080	96,920	A	農林水産課
5	一般会計	○ 漁港整備事業	50,000,000	45,966,960	4,033,040	A	農林水産課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			53,680,867	49,549,407	4,131,460		

基本事業概要シート②

施策 No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名	②水産経営基盤の整備強化と担い手育成		
基本事業の目的(意図)	漁業の後継者が育っています。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【漁業経営安定対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成を行いました。 ・東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業経営者に経営安定のための支援を引き続き行いました。 <p>【漁業振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて推進する「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して、引き続き支援しました。 <p>【漁業後継者育成対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規漁業就業者の獲得のための説明会、研修会等の開催に対して支援しました。 <p>【魚津みなと振興会助成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津北港、南港、経田漁港の活性化に向け、「3港活性化検討委員会」において関係団体等との検討を始めました。 <p>【農工商連携インターンシップ事業】施策No.10基本事業②関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農工商連携インターンシップ事業などによる漁業体験を通じ、漁業の魅力を感じてもらい、担い手育成につなげる取組を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
漁業者数(漁協正組合員)	人	220	214	211	230 203	235 204	240 213	245	250
ボートヤード利用隻数	隻	73	67	71	80 77	85 75	90 76	95	100

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	船員窓口事務	3,000	1,500	1,500	-	農林水産課
2	一般会計	富山県北方領土復帰促進協議会参画事業	130,000	130,000	0	-	農林水産課
3	一般会計	海上保安協会富山県支部参画事業	9,000	9,000	0	-	農林水産課
4	一般会計	魚津漁協女性サポート活動補助事業	40,000	40,000	0	-	農林水産課
5	一般会計	沖合漁業・出漁団助成事業	74,600	65,824	8,776	-	農林水産課
6	一般会計	魚津みなと振興会助成事業	200,000	200,000	0	-	農林水産課
7	一般会計	水産都市協議会参画事業	8,000	7,000	1,000	-	農林水産課
8	一般会計	養鯉振興会参画事業	5,000	5,000	0	-	農林水産課
9	一般会計	○ 漁業経営安定対策事業	10,181,000	9,757,529	423,471	B	農林水産課
10	一般会計	○ 漁業後継者育成対策事業	840,000	120,000	720,000	B	農林水産課
11	一般会計	○ 漁業振興事業	15,000,000	15,000,000	0	A	農林水産課
12	予算なし	○ 農山漁村振興交付金事業	0	0	0	B	農林水産課
13	予算なし	漁業許可申請事務	0	0	0	-	農林水産課
14	予算なし	水難救助法事務	0	0	0	-	農林水産課
15							
16							
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			26,490,600	25,335,853	1,154,747		

基本事業概要シート③

施策 No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名	③魚のブランド化と地産地消の推進		
基本事業の目的(意図)	魚津産魚の料理講習会や給食食材の提供など食育も行いながら、地産地消を推進します。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚食普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富山県おさかな普及協議会」が魚食の普及に関連して実施する関係冊子の作成について、県内8市町(魚津市、富山市、高岡市、滑川市、黒部市、射水市、入善町、朝日町)が連携して支援を行いました。 <p>【魚津のさかなブランド化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の物産展等に出店し、魚津の魚の「美味しさのPR」、「消費拡大」、「魚津ブランドの確立」等に努めました。 ・魚津ブランドの定着が進む寒ハギ「如月王」、「パイ飯」について、ブランドの確立と知名度の拡大を図るためのPRや販売活動を行いました。 ・平成29年度にみたとオアシス魚津で開催された「Sea級グルメ全国大会」でグランプリを受賞した「パイ飯」については、平成30年5月に「魚津パイ飯」として地域団体商標に登録されました(市内では「加積りんご」に続いて2件目)。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
市場での水産物取扱額	百万円	1,570	1,626	1,571	1,550 1,426	1,700 1,391	1,850 1,374	2,000	2,150

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	魚食普及事業	180,000	180,000	0	-	農林水産課
2	一般会計	○ 魚津のさかなブランド化推進事業	800,000	800,000	0	C	農林水産課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			980,000	980,000	0		

施策 No.	6	施策名	水産業の振興
平成30年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市場での水揚げ量は、前年比+554トンの3,452トンとなりました。 (魚種別 カワハギ:前年比△53,261kg、アジ:前年比+204,131kg、フクラギ:前年比△153,573kg) ◆船揚施設の利用隻数については、平成28年度は91隻、29年度は78隻、30年度は93隻と、2年前の水準に戻りました。 <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆漁業従事者は、平成26年度から減少傾向にありましたが、平成30年度は前年度から9名増の213人となりました。 ◆ボートヤードの利用隻数は、ほぼ横ばいで推移し、目標値には及びませんが、平成30年度は前年度から1隻増の76隻でした。 ◆外国人漁業実習生(インドネシア)の受入れについては、平成30年度は、前年度と同程度である11名(△2名)でした。 <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水産物取扱額は、平成29年度は13億9千万円、平成30年度は13億7千万円と減少傾向が続いています。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成30年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <p><漁港整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆老朽化が著しい経田漁港の機能回復や長寿命化を図るため、「水産物供給基盤機能保全事業」により、平成26年度から岸壁の保全工事を進め、平成29年度からは港内の浚渫も開始し、平成30年度には、岸壁工事(L=79.9m)及び浚渫工事(V=3,700m³)を行いました。 <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <p><漁業経営安定対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「魚津市水産業経営安定補助金交付要綱」に基づき、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成、東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業経営者に経営安定のための支援を引き続き行いました。 <p><漁業振興事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて実施している「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して支援しました。 <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <p><魚津のさかなブランド化推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津ブランドの定着が進む寒ハギ「如月王」、「バイ飯」のPRや販売活動に対して支援を行いました。 ◆平成29年度にみなとオアシス魚津で開催された「Sea級グルメ全国大会」でグランプリを受賞した「バイ飯」については、平成30年5月に「魚津バイ飯」として地域団体商標に登録されたことから、魚津漁協が記念キャンペーンとして登録シール付きの「バイ飯」を販売するなど、ブランド強化に取り組みました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水産資源の保全と確保を図るため、種苗の放流を引き続き行っていきます。 ◆経田漁港については、機能保全事業計画に基づき、「水産物供給基盤機能保全事業」を活用して保全工事を進めていきます。また、以前より問題となっている港内の砂の堆積については、同事業により計画的に浚渫工事を進めていきます。 <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆厳しい経営環境にある漁業経営者に対して、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成など経営安定のための支援を引き続き行っていきます。 ◆水産業の活性化のため、新規担い手の育成、確保が求められていることから、漁業後継者の育成を推進していきます。 ◆魚津北港、南港、経田漁港及び周辺地域の活性化に向け、「3港活性化検討委員会」において関係団体等との検討を進めます。 <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津産魚介類のブランド化を推進していくため、各地の物産展等へ積極的に参加し、出向宣伝に努めていきます。 ◆寒ハギ「如月王」、「バイ飯」、「アジ天点」について、PRや販売促進活動を強力に進め、普及、販売拡大を図ります。 			

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆水産資源の管理と豊かな漁場づくりなど魚津産の魚介類の確保に努めること。 ◆付加価値の創造(ブランド化、商品開発、6次産業化)を促進し、漁業経営の健全化、安定化を推進すること。 ◆漁業従事者の確保、担い手の育成に努め、漁業の活性化に努めること。 ◆みなとオアシス魚津や魚津の魚介類を含めた魚津の魅力を広く全国にPRすること。 ◆魚津北港、南港、経田漁港の活用化策を関係団体等と協議すること。
---	---

<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆水産資源の保全と確保を図る取組みを推進します。 ◆地産地消、6次産業化及びブランド化を推進し、漁業経営の安定化を図るとともに、担い手の育成や確保に取り組みます。 ◆魚津港・経田漁港及び周辺地域について、今後のあり方や活性化策を取りまとめます。
---------------------------------	--